

令和4年度 一般選抜学生募集要項

学 類	出 願 期 間	前 期 日 程			後 期 日 程		
		試 験 日	合格者発表	入学手続期間	試 験 日	合格者発表	入学手続期間
人間発達文化学 類	1月24日 (月)	2月25日 (金)	3月6日 (日)	3月7日 (月)	3月12日 (土)	3月20日 (日)	3月21日 (月祝)
行政政策学類							
経済経営学類	〃						
共生システム理工学類	2月4日 (金)	2月26日 (土)		3月15日 (火)			3月26日 (土)
食農学類							

一般選抜はインターネット出願です。
インターネット出願サイトはこちらです。
(<https://e-apply.jp/e/fukushima-u/>)

新型コロナウイルス感染拡大の状況により、試験日程・選抜方法等が変更になる場合があります。最新情報は本学ウェブサイトでご確認ください。

(入試情報 <http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)



〒960-1296
福島市金谷川1番地
☎024-548-8064 (入試課)
<http://www.fukushima-u.ac.jp/>

福島大学
スマートフォン対応サイト



目 次

インターネット出願案内

I	アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	1
II	入学定員および募集人員	7
III	出 願 資 格	8
IV	入学者選抜方法	
1.	令和4年度大学入学共通テストの受験を要する教科等	9
2.	個別学力検査等実施教科・科目・出題範囲，試験日・試験時間および合格者決定方法等	12
V	大学入学共通テストおよび個別学力検査等の配点	16
VI	出 願 手 続	
1.	出 願 方 法	19
2.	事 前 準 備	19
3.	インターネット出願登録期間	20
4.	検定料の支払い	20
5.	出 願 期 間	21
6.	出願書類提出先	21
7.	出 願 書 類 等	21
8.	出願書類作成上の注意事項	22
9.	大学入学共通テスト受験教科・科目自己確認表	22
10.	受験票の印刷について	22
11.	出願に際しての留意事項	22
12.	障がい等のある入学志願者の事前相談	23
13.	出願状況についての情報提供	23
VII	試験当日に持参するもの	29
VIII	試 験 場	29
IX	合 格 者 発 表	29
X	追 加 合 格	29
XI	入 学 手 続	
1.	手続の概要	30
2.	入学辞退者の取扱い	30
3.	入学時の大学への納入金	30
4.	入学料・授業料の減免について	30
XII	入試情報の公開（開示）について	
1.	試験問題等の公開について	31
2.	入学試験個人成績等の開示について	31
XIII	入学志願者の個人情報保護	31
XIV	一般選抜（前期日程および後期日程）における過去問題の使用について	31
XV	東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において 被災された方に対する検定料の免除について	32
XVI	共生システム理工学類における本学が実施する試験の一部変更について—予告—	32
XVII	入試における新型コロナウイルス感染症対応について	33
	○福島大学案内図	本要項末

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下のとおりです。

出願登録・検定料・必要書類等の詳細については、必ず募集要項本文を確認して、不備のないように出願してください。



事前準備

事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。(スマートフォン、タブレットは非推奨。)
必要書類は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。



インターネット出願サイトにアクセス

出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/e/fukushima-u/>

または、

大学ホームページ ▶ <http://www.fukushima-u.ac.jp/index.html>

からアクセス



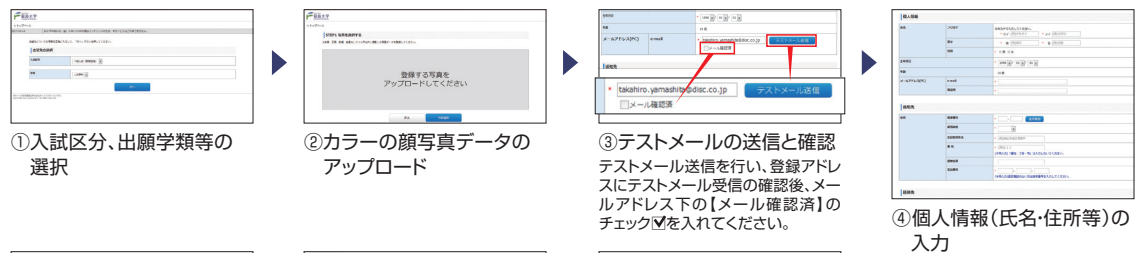
STEP

1

インターネット出願登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

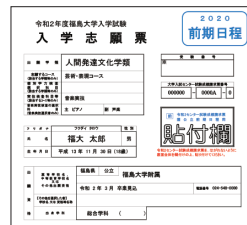
「出願内容の確認/必要書類の印刷」ボタンより、受付番号(※)、生年月日、メールアドレスを入力・ログインすると、自分が登録した内容の確認、出願に必要な書類の出力ができます。



⑤ 申込登録完了
受付番号(12桁)は必ず控えてください。出願情報を確認する際と、出願書類を出力する際に必要になります。



[STEP2] 検定料の支払い
● コンビニエンスストア
● ペイジー対応銀行ATM
● ネットバンキング ● クレジットカード



[STEP3] 出願に必要な書類(PDF)の印刷と郵送

検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」又は「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、**支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号**を控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストア又はペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※ 確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



Famiポート



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

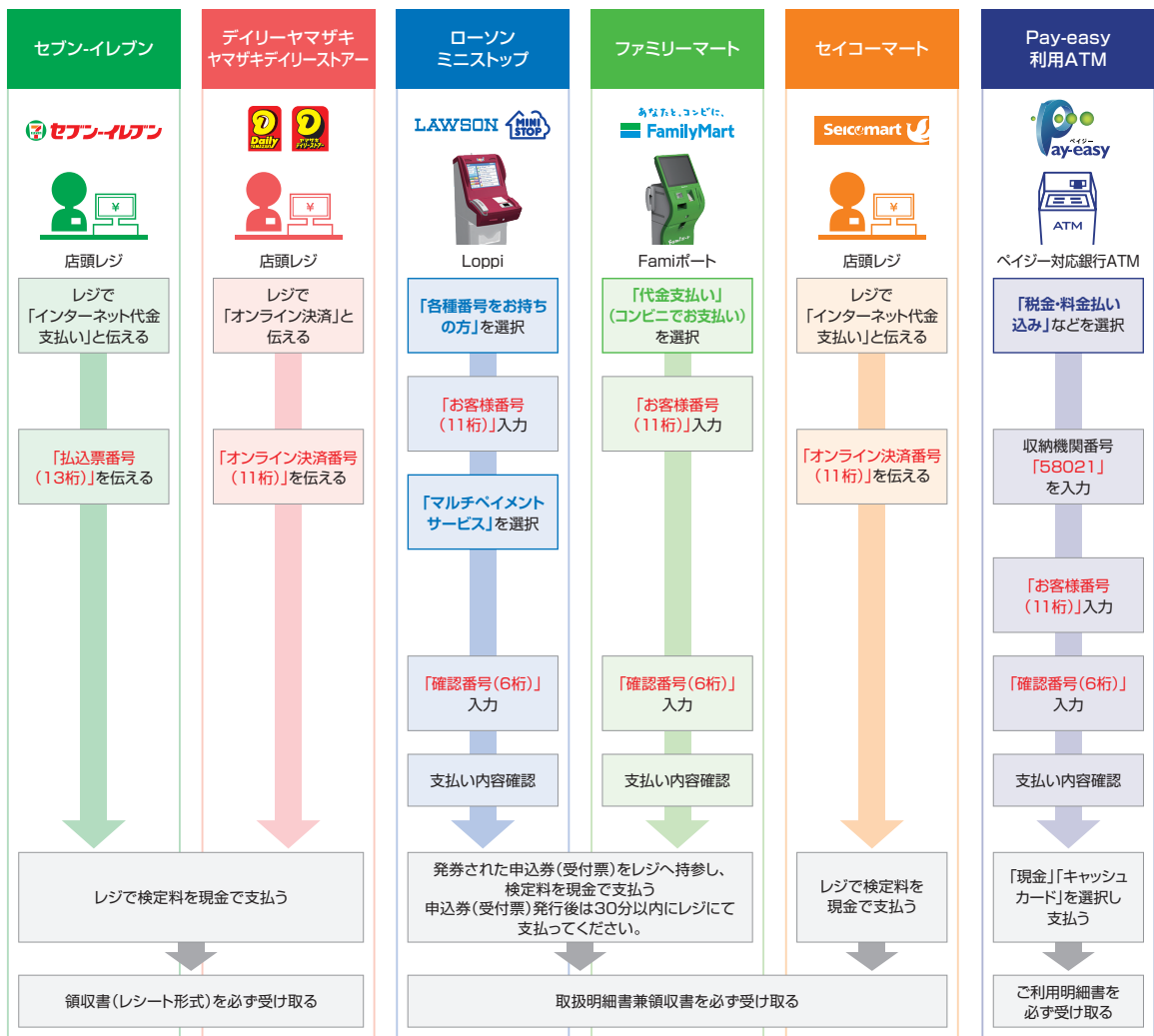
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



4 銀行ATM

STEP

3

必要書類の印刷と郵送

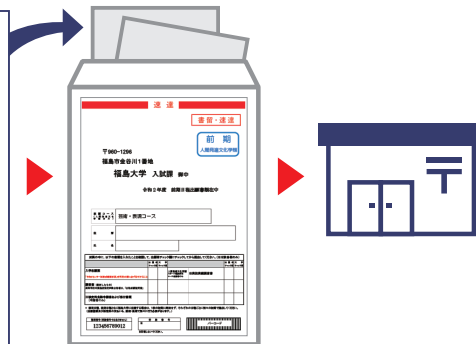
出願登録、検定料の支払後にダウンロードできる書類を全てカラー印刷し、その他の必要書類とあわせて、出願期間内に郵便局窓口から「**一般書留・速達郵便**」で郵送してください。

出願に必要な書類は、学生募集要項を参照してください。

インターネット出願サイトから印刷する書類以外にも
高校等に請求いただく書類や本学のウェブサイトから
様式等をダウンロードして作成する書類がありますので、
出願期間に間に合うようあらかじめ準備してください。

なお、書類到着確認の問い合わせには応じません。

確認をご希望される場合は、ご自身で郵便
追跡サービスからお問い合わせ番号を入力
し、確認してください。



出願書類提出宛名シート
市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)
封筒に貼り付けて作成

出願書類の郵送先は宛名シートに自動で印字されます。

■ 出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。出願に必要な書類は各募集要項を参照してください。

※いったん受理した検定料・必要書類は募集要項に記載の場合を除き、一切返却しません。

〈出願完了〉

出願時の
注意点

「インターネット出願」は、Web上の出願サイトでの登録完了後、検定料を支払い、必要書類を郵送(提出)することで完了となります。登録が完了しても出願期間内に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

Web上での出願登録や検定料の支払は24時間可能(ただし、コンビニエンスストア、ATM、施設等の営業時間に準拠します。)ですが、登録締切・支払締切時刻、出願期間を募集要項本文でよく確認して、ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

4

受験票の印刷

出願を受け付けた後、受験票の印刷が可能になりましたら、出願時に登録されたメールアドレスへ通知します。

メールが届かない場合でも、2月11日(金)以降に、出願サイトにログインし、各自でA4用紙にカラー片面印刷をして試験当日に持参してください。



試験区分	インターネット出願登録および 検定料払込期間	出願期間
一般選抜 (前期日程・後期日程)	令和4年1月22日(土) ～2月4日(金)午後4時30分まで	令和4年1月24日(月) ～2月4日(金)午後5時まで

I アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

福島大学の教育目標

福島大学は、正規課程および課外活動等のあらゆる機会を捉えて、自ら学び、主体的な人生設計と職業選択を行うことのできる自立した人間の育成をめざします。

また、東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故からの学びを活かし、「新たな地域社会の創造」に取り組み、人口減少や高齢化、環境・資源・エネルギー問題などの地域および世界の「21世紀的課題」を自分事として捉え、複雑かつ困難な課題に果敢に挑戦する人材の育成を目標に掲げます。

そのために「問題基盤型学習」を教育理念としたカリキュラムを備え、確かな専門知識や技術、実践的なスキル、「解のない問い」に挑む態度などを身につけます。

福島大学の求める学生像（福島大学のアドミッション・ポリシー）

福島大学では、以下の要件を満たす学生を募集します。なお、「求める学生像」の具体的内容は、学類のアドミッション・ポリシー（AP）で示します。

1. 〈福島大学の教育目標〉を理解していること
2. 地域や社会の発展に貢献する志をもつこと
3. そのために、①選択した領域の専門知識、②問題を発見し探究する力、③広い教養と知的関心、④グローバルな視野、⑤主体的に多様な人々と協働する力、を自ら向上させようとする意欲があること
4. 福島大学での学士課程教育を受けるにふさわしい基礎的学力、思考力・表現力・コミュニケーション能力、現実の問題や学問への能動的姿勢を持っていること

入学者選抜の基本方針

福島大学では、すべての学類の入学者選抜において、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度(以下、「主体性等」)」の「学力の3要素」を多面的・総合的に評価します。

学力の要素 評価方法	〈 学 力 の 3 要 素 〉				
	知 識 ・ 技 能	思 考 力 ・ 判 断 力 ・ 表 現 力		主 体 性 等	
	知 識 ・ 技 能	思 考 力 ・ 判 断 力	表 現 力	意 欲 ・ 関 心 ・ 態 度 (主 体 性)	協 働 性
大学入学共通テスト, 個別学力検査	○	○			
実 技 (実 績 評 価)	○		○		
小論文, 課題論文, 課題レポート	○	○	○		
総 合 問 題	○	○			
口頭試問, 面接	○	○	○	○	
グループ討論		○	○		○
ポスター プレゼンテーション	○	○	○	○	
調 査 書				○	○
推薦書 (学校)	○			○	
自己推薦書, 志願理由書			○	○	

総合型選抜と学校推薦型選抜では、下表に記した方法で、学力の3要素を評価します。

総合型選抜

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性等
人間発達文化学類 (芸術・表現コース)	小論文, 面接, 実技検査		面接
人間発達文化学類 (スポーツ健康科学コース)	実技実績調査書 (第1次選抜) 小論文, 面接, 実技実績評価 (第2次選抜)	小論文, 面接	面接
行政政策学類 (夜間主)	口頭試問		
経済経営学類	課題レポート (第1次選抜) 大学入学共通テスト (第3次選抜)	課題レポート (第1次選抜)	
		グループ討論および面接 (第2次選抜)	
共生システム理工学類	ポスター内容 (第1次選抜) 総合問題 (第2次選抜)	ポスター内容 (第1次選抜)	志願理由書
	ポスタープレゼンテーション (第2次選抜)		
食農学類	自己推薦書 (第1次選抜), 課題論文 (第2次選抜)		面接 (第2次選抜)

学校推薦型選抜

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性等
人間発達文化学類	大学入学共通テスト, 面接		面接
行政政策学類	調査書 (評点), 小論文	小論文, 面接	面接
経済経営学類 (A推薦)	調査書 (評点), 語学資格・検定基準	小論文, 面接	面接
経済経営学類 (B推薦)	調査書 (評点), 簿記検定試験の合格	小論文, 面接	面接
共生システム理工学類	調査書 (評点), 小論文	小論文, 面接	面接

人文社会学群

〔人間発達文化学類〕

1. 人間発達文化学類の教育目標と求める学生像

人間発達文化学類では、生涯にわたる発達への支援や、人間の発達を支える社会・文化への支援を通じて、学校はもちろんのこと、行政や企業、地域社会で活躍することを目指す意欲を持ち、卒業までに次の4つの力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

- ・人間の発達を支援する教育および文化についての専門知識や技術を習得し活用する力
- ・現代的課題や地域的課題への問題意識をもち、個々の事象を複数の観点から捉える力
- ・人や文化の多様性を理解し、共感的態度をもって価値観や考え方の違いを超えた関係を築く力
- ・学問固有の問いの立て方、ものの見方・考え方を身に付け、それらを活用しつつ社会の改善に向けて探究し表現する力

人間発達文化学類には、教育実践、心理学・幼児教育、特別支援・生活科学、芸術・表現、人文科学、数理自然科学、スポーツ健康科学の7つのコースがあり、1年生の前期（第1セメスター）から各コースのいずれかに所属することになります。

2. 入学試験の種類と内容

本学類では、次の入学試験を実施します。

〔一般選抜・前期日程〕 募集人員 154人

〔一般選抜・後期日程〕 募集人員 12人

〔総合型選抜〕 募集人員 20人

〔学校推薦型選抜〕 募集人員 74人

入学試験の内容は、後述の該当部分を参照ください。

3. 入学者選抜の際に求める知識・技能・関心

各コースで養成する人間発達支援者は、人間に対する理解だけでなく、高校で学んだ人文科学や社会科学、生活科学、数理科学、芸術、スポーツなどの知識・技能を基に新たな知識や技術を身に付けます。

本学類では、以下に挙げる知識・技能・関心を有している学生を求めます。

- (1) 高校時代までの基礎的な学力・実技能力
- (2) 得意分野に関する優れた理解・技能（以下のうち1つ以上）
 - ・得意な教科や領域の意味内容を良く理解している。
 - ・運動・スポーツにおける優れた技能・実績を有している。
 - ・音楽や美術において優れた技量を有している。
- (3) 教育・人間・文化・社会への問題意識、および人間発達支援に対する強い意志

〔行政政策学類〕

1. 行政政策学類の教育目標と求める学生像

行政政策学類では、21世紀の地域社会が直面している諸課題について、広く学際的な観点から学び、より暮らしやすい健康で文化的な地域社会を作り出すために、卒業までに次の5つの力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。特に夜間主は、働きながら学ぶ人、様々な社会経験をもとに学びたいと考える人を対象とします。

- ・法・地域・行政・社会・文化等の研究分野に関する基礎的かつ専門的知識
- ・国・地域・社会における諸問題を自ら発見し、調査・分析する能力
- ・発見し、調査・分析した諸課題につき、解決する能力
- ・学際的な創造力で社会に貢献する応用的能力
- ・修得した知識・考察した結果を発表し、議論する能力

行政政策学類には、「地域政策と法コース」「地域社会と文化コース」の2コースがあり、2年生の前期（第3セメスター）からいずれかのコースに所属することになります。

2. 入学試験の種類と内容

本学類では、次の入学試験を実施します。

〔昼間の一般選抜・前期日程〕 募集人員 108人

入学試験の内容は、後述の該当部分を参照ください。

〔昼間の一般選抜・後期日程〕 募集人員 35人

入学試験の内容は、後述の該当部分を参照ください。

[昼間の学校推薦型選抜] 募集人員 42人

調査書(全体の学習成績の状況(評定平均値)4.3以上)、志願理由書(「法・地域・行政・社会・文化について関心がある者」)提出を推薦要件とし、個別学力検査(小論文)と面接によって実施。

[夜間主の総合型選抜] 募集人員 20人

志願理由書に基づいた口頭試問によって実施。

3. 入学者選抜の際に求める知識・技能・関心

21世紀の地域社会が直面している諸課題について、広く学際的な観点から学び、より暮らしやすい健康で文化的な地域社会を作り出すための能力を大学において身に付けるために、以下に挙げる基礎的な知識・技能・関心を有している学生を求めます。

- (1) 高校時代までの基礎的な学力(以下のうち1つ以上)
 - ・国語、地歴公民、理科、数学、外国語について、修学に必要な知識を有している。
 - ・上記科目のうち、いずれか3科目について、優れた知識を有している。
- (2) 現代社会や地域の諸課題に関する理解力・思考力・分析統合力・表現力(以下のうち1つ以上)
 - ・読書や論理的な文章を書く習慣に基づく長文の読解力
 - ・政治、経済、社会的な問題などに関心を持ち、深く考察する態度
 - ・意見交換によって解決策を考えだすための発言力あるいは論点整理力

[経済経営学類]

1. 経済経営学類の教育目標と求める学生像

経済経営学類では、経済と経営の専門知識を身に付け、現代の経済社会を理解し、課題解決に実践的に取り組む人材を養成することを目標とし、卒業までに次の知識および能力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

- ・経済学と経営学の専門知識
- ・エビデンスにもとづいて論理的に思考する力
- ・フィールドを通じて社会の課題に主体的に取り組む力
- ・グローバルに思考し実践に進む力
- ・キャリアを見据え自立し協働する力

経済経営学類には、「経済学コース」「経営学コース」の2コースがあり、2年生の後期(第4 Semester)からいずれかのコースに所属することになります。

2. 入学試験の種類と内容

本学類では、次の入学試験を実施します。

[一般選抜・前期日程] 募集人員 114人

[一般選抜・後期日程] 募集人員 40人

[総合型選抜] 募集人員 11人

[学校推薦型選抜・A推薦] 募集人員 25人

[学校推薦型選抜・B推薦] 募集人員 25人

[私費外国人留学生選抜] 募集人員 5人

入学試験の内容は、後述の該当部分を参照ください。

3. 入学者選抜の際に求める知識・技能・関心

現代社会で起こっている様々な問題を経済・経営の視点でとらえる能力と、社会での実践力を大学において身につけるために、以下に挙げる基礎的な知識・技能・関心を有している学生を求めます。

- (1) 高校時代までの基礎的な学力
 - ：国語、地歴公民、理科、数学、外国語について、修学に必要な知識を有している。
 - (2) 読解力・思考力・知識活用力・表現力
 - (3) 現代社会で起こっている様々な問題に対する関心・意識と勉強意欲
 - (4) 得意分野に関する優れた学力・実績(学校推薦型選抜に該当)
 - ：学校推薦型選抜では、上記の(1)・(2)・(3)に加え、以下の点を評価します。
- 学校推薦型選抜(以下のうち1つ以上)
 - A推薦：英語等の外国語に関する優れた知識、ないし関連資格を有している。
 - B推薦：簿記に関連する優れた知識、ないし関連資格を有している。

理工学群

〔共生システム理工学類〕

1. 共生システム理工学類の教育目標と求める学生像

共生システム理工学類では、21世紀の社会が抱える諸課題に挑戦でき、人・産業・環境が共生する社会の構築に貢献できる人材を育成することを目標に掲げています。共生を科学する新しい教育・研究システムの下で、卒業までに次の4点を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

- ・幅広い理工学的基礎知識と確かな専門性
- ・論理的で的確な立案力と決定力
- ・学際的・国際的に実践する力
- ・積極的かつ持続的な貢献意識

共生システム理工学類では、1年生で数学、物理学、化学、生物学、地球科学、プログラミング等の理工系の基礎科目を学ぶとともに、「共生の科学」などの科目で諸課題を学際的・系統的に捉える力を養います。2年生の前期（第3セメスター）から専門領域名を冠した9つのコース*の中から1つを選択して専門領域を深く学び、3年生の後期（第6セメスター）からは研究室に配属されて、演習や卒業研究を行います。

*9コース：数理・情報科学コース、経営システムコース、物理・システム工学コース、物質科学コース、エネルギーコース、生物環境コース、地球環境コース、社会計画コース、心理・生理コース

2. 入学試験の種類と内容

本学類では4種類の入学試験を実施します。それぞれの入学試験の科目などは以下のとおりです。

〔総合型選抜〕 募集人員 25人

高等学校までの学習全般を含む総合問題、自ら設定した課題についてのポスターを用いた発表と口頭による質疑、志願理由書および調査書により、高等学校の基礎的な学力、論理的な思考力のある人を選抜します。特に持続的な探求意欲と行動力のある人を期待します。

〔学校推薦型選抜〕 募集人員 23人

小論文、面接、志願理由書および調査書により、基礎学力、理解力、論理的な思考力と表現能力を持つ人を選抜します。調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が4.0以上の人を対象としており、高等学校の間に勤勉な学習を重ねた人を期待します。

〔3年次編入学〕 募集人員 若干名

高等専門学校を卒業見込みの者を対象に、面接と提出書類（志願理由書、推薦書、調査書）により、本学類で学ぶために必要な基礎的な学力をもち、学習意欲が高い人を選抜します。

〔一般選抜〕 募集人員 前期日程 70人、後期日程 42人

理科1科目および数学（前期）または数学（後期）の記述試験による個別学力検査、大学入学共通テスト（5教科7科目）および調査書により、基礎的な科目を広く習得し、理系科目の柔軟な思考力と応用力がある人を選抜します。

3. 入学者選抜の際に求める知識・技能・関心

本学類で学び成長するために、以下に掲げる力を有している学生を求めます。

- (1) 高校までに身につけるべき基礎学力
- (2) 論理的な思考力
- (3) 自然現象や様々な課題を観察し分析する力
- (4) 観察し分析した結果や自らの考えを表現する力

農学群

〔食農学類〕

1. 食農学類の教育目標と求める学生像

食農学類では、食品産業や農林業の第一線で活躍することや、行政や教育機関などで食品産業や農林業を支えることを目指す意欲を持ち、卒業までに次の4つの力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

- ・農学の専門知識を関連産業や地域社会の実践的な取り組みにつなげる力
- ・異なる専門分野との学際的な交流によってチームプレイを推進できる力
- ・グローバルな科学的知見や国際比較の情報を地域の課題解決に活かす力
- ・温かい眼差しと冷静な分析力によって地域社会への貢献を持続できる力

食農学類では、2年生の後期（第4 Semester）から、食品科学コース、農業生産学コース、生産環境学コース、農業経営学コースのいずれかに所属することになります。各コースは、次のような基礎的・専門的な知識と能力を身に付けた人材の養成を目標としています。

- ・食品科学コース：食品の分析について専門的な知識・技能を身に付けている。優れた食品の製造について知識・技能のポイントを修得するとともに、地域の食の伝統的な強みを活かす筋道を具体的に理解している。
- ・農業生産学コース：果樹・園芸等を含めて作物学の専門的な知識・技能を修得している。病害虫管理や土壌肥料の原理を学ぶことにより、安全な作物生産や環境保全型農業の基本課題を深く理解している。
- ・生産環境学コース：森林・農地・水利施設等の生産環境の実態を把握し、管理・活用システムを体系的に理解している。生産環境の修復や ICT 等の最先端技術導入などの実践的な課題に取り組むこともできる。
- ・農業経営学コース：農林業や食品産業の活動を社会科学の観点から分析する知識・技能を修得している。農商工連携などの新潮流の情報に詳しく、協同組合や共有資源の役割についても深く理解している。

2. 入学試験の種類と内容

食農学類では期待する人材を求めて、4種類の入学試験を実施いたします。

それぞれの入学試験の科目などは以下のとおりです。

〔一般選抜・前期日程〕 募集人員 60人

大学入学共通テストの5教科7科目（国語、地理歴史・公民（1科目）、数学（2科目）、理科（2科目）、外国語）、個別学力試験の2科目（物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物、数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B）、英語から2科目選択）で実施。

〔一般選抜・後期日程〕 募集人員 20人

大学入学共通テストの5教科7科目（国語、地理歴史・公民（1科目）、数学（2科目）、理科（2科目）、外国語）、個別学力試験の1科目（数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B）、英語から1科目選択）、および面接で実施。

〔総合型選抜・地域社会貢献枠〕 募集人員概ね 10人

自己推薦書と調査書によって第1次選抜を行い、第1次選抜合格者を対象として課題論文と面接による第2次選抜を実施。

福島県内の高等学校等を卒業もしくは卒業見込みの者で、福島県内の農業、農業関連産業、食品関連産業、農林水産行政機関等の次世代の担い手として活躍する強い意欲を持つもの、あるいは福島県外の高等学校等を卒業もしくは卒業見込みの者で、福島県内か出身県内の農業、農業関連産業、食品関連産業、農林水産行政機関等で次世代の担い手として活躍する強い意欲を持つもので、指定する資格のいずれかを取得しているものを対象とします。

〔総合型選抜・実践教育経験枠〕 募集人員概ね 10人

自己推薦書と調査書によって第1次選抜を行い、第1次選抜合格者を対象として課題論文と面接による第2次選抜を実施。

高等学校専門学科（農業、工業、商業、情報、水産、家庭、看護、福祉に関する学科）、総合学科、あるいは中等教育学校専門学科（農業、工業、商業、情報、水産、家庭、看護、福祉に関する学科）を卒業見込みの者、または高等専門学校の第3学年を修了見込みの者で、農学を学ぶ強い意欲を持ち、かつ指定する資格のいずれかを取得しているものを対象とします。

II 入学定員および募集人員

単位:人

学群	学 類	コ ー ス 等	入 学 員	募 集 人 員				
				一 般 選 抜		総 合 型 選 抜	学 校 推 薦 型 選 抜	
				前 期 日 程	後 期 日 程			
人 文 社 会 学 群	人 間 発 達 文 化 学 類	教育実践コース	260	15	A系 6		14	
		心理学・幼児教育コース		20			7	
		特別支援・生活科学コース		12			13	
		芸術・表現コース		12		8	8	
		人文科学コース		60	B系 6		15	
		数理自然科学コース		15			11	
		スポーツ健康科学コース		20		12	6	
		小 計		154		12	20	74
	行 政 政 策 学 類	昼 間	地域政策と法コース	185	108	35		42
			地域社会と文化コース					
夜 間 主		20			20			
小 計		205	108	35	20	42		
経 済 経 営 学 類	経済学コース 経営学コース	※220	114	40	11	A推薦	25	
						B推薦	25	
理 工 学 群	共 生 シ ス テ ム 理 工 学 類	数理・情報科学コース 経営システムコース 物理・システム工学コース 物質科学コース エネルギーコース 生物環境コース 地球環境コース 社会計画コース 心理・生理コース	160	70	42	25	23	
農 学 群	食 農 学 類	食品科学コース 農業生産学コース 生産環境学コース 農業経営学コース	100	60	20	20		
合 計			940	506	149	96	189	

【注意事項】

※私費外国人留学生選抜の募集人員5人を含む。

人 間 発 達 文 化 学 類

- (1) 人間発達文化学類の総合型選抜および学校推薦型選抜の入学手続き者が、募集人員に満たなかった場合、その欠員は一般選抜前期日程の募集人員に加えます。
- (2) 人間発達文化学類一般選抜後期日程入学者の所属コースは、入学手続きの際、合格した系の中の希望するコースに決定します。

行 政 政 策 学 類

- (1) 行政政策学類の学校推薦型選抜の入学手続き者が、募集人員に満たなかった場合、その欠員は一般選抜前期日程の募集人員に加えます。
- (2) 行政政策学類入学者の所属コースは、1年次後期（第2セメスター）に本人の希望を考慮して決定します。

経 済 経 営 学 類

- (1) 経済経営学類の総合型選抜および学校推薦型選抜の入学手続き者が、募集人員に満たなかった場合、その欠員は一般選抜前期日程の募集人員に加えます。
- (2) 経済経営学類入学者の所属コースは、2年次前期に本人の希望と入学後の成績に基づいて決定します。

共 生 シ ス テ ム 理 工 学 類

- (1) 共生システム理工学類の総合型選抜では、合格者が募集人員に満たない場合があります。
- (2) 共生システム理工学類の総合型選抜および学校推薦型選抜の入学手続き者が、募集人員に満たなかった場合、その欠員は原則として一般選抜前期日程の募集人員に加えます。
- (3) 共生システム理工学類入学者の所属コースは、1年次後期末に本人の希望と入学後の成績に基づいて決定します。

食 農 学 類

- (1) 食農学類の総合型選抜の入学手続き者が、募集人員に満たなかった場合、その欠員は一般選抜前期日程の募集人員に加えます。
- (2) 食農学類入学者の所属コースは、2年次前期終了時に決定します。

Ⅲ 出願資格

一般選抜に出願することができる者は、次のいずれかに該当し、かつ、令和4年度大学入学共通テストの教科・科目のうち本学が指定した教科・科目をすべて受験した者^{※1}とします。

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和4年3月に卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和4年3月に修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定（第6号を除く。）により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（次の①～⑥のいずれかに該当する者）
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者および令和4年3月31日までに修了見込みの者またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和4年3月31日までに修了見込みの者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または令和4年3月31日までに修了見込みの者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による資格検定試験に合格した者を含む。）および令和4年3月31日までに合格見込みの者で、令和4年3月31日までに18歳に達する者（平成16年4月1日に生まれた者を含む。）
 - ⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和4年3月31日までに18歳に達する者（平成16年4月1日に生まれた者を含む。）^{※2}

※1 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目については、9～11ページのとおりです。各学類・試験日程（人間発達文化学類前期日程はコース）ごとに指定された教科・科目を受験していない場合は、出願資格を有しないこととなりますので注意してください。

大学入学共通テスト「外国語」において、「英語」を選択する場合は、「リスニング」の免除を許可された場合を除き、「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。「リーディング」または「リスニング」のどちらかしか受験していない場合は、「英語」を受験しなかったものとして取り扱いますので注意してください。

※2 出願資格の(3)⑥により出願を希望する者で、大学入学共通テスト出願後に、志望大学を本学に変更し出願する者は、個別審査を行いますので、本学所定の申請書に必要事項を記入し、必要書類を添えて、令和4年1月12日（水）〔午後5時必着〕までに提出してください。

なお、個別審査の申請に必要な書類については、本学入試課へ問い合わせるか、本学ウェブサイトの「入試情報」（<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>）を参照してください。

Ⅳ 入学者選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テスト、個別学力検査等（個別学力検査、実技検査、小論文および面接）に基づいて行いますが、学類によって異なるので、詳細については志願する学類の選抜方法の項を参照してください。

なお、出身学校の調査書は選抜の基礎資料として利用します。

1. 令和4年度大学入学共通テストの受験を要する教科等

(1) 人間発達文化学類

試験日程	コース	受験を要する教科名	科目の選択方法
前期日程 後期日程	すべてのコース	国語 地理歴史、公民 理科 数学 外国語	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫政経から1または2 (選択①: 「地歴」, 「公民」 から1科目選択する場合) 物基, 化基, 生基, 地学基から2および物, 化, 生, 地学から1 または 物, 化, 生, 地学から2 (選択②: 「地歴」, 「公民」 から2科目選択する場合) 物基, 化基, 生基, 地学基から2 または 物, 化, 生, 地学から1 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (選択①) [5教科7科目] または [5教科8科目] (選択②) [5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目] または [6教科8科目]

【注意事項】

- ① a. 「地理歴史」, 「公民」 から2科目, 「理科」の「基礎を付していない科目」から2科目受験した場合, それぞれの「第1解答科目」の2科目と「第2解答科目」のどちらか高得点の1科目, 合計3科目を判定に用います。
- b. 「地理歴史」, 「公民」 から2科目, 「理科」の「基礎を付した科目」から2科目, および「基礎を付していない科目」から1科目を受験した場合, 「地理歴史」, 「公民」の「第1解答科目」と, その他の3科目から高得点の2科目, 合計3科目を判定に用います。
- ② 「地理歴史」を2科目選択する場合は, 同一名称のA・B科目, 「公民」を2科目選択する場合は, 同一名称を含む科目同士の選択はできません。
- ③ 「理科」を2科目選択する場合は, 「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む科目を選択しても構いません。
- ④ 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択解答することができる者は, 高等学校または中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。
- ⑤ 「外国語」の「英語」については, リーディングおよびリスニングを課します。(リスニングを免除された場合は, リーディングのみとなります)
- ⑥ 過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。令和4年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

(2) 行政政策学類

試験日程	受験を要する教科名	科目の選択方法
前期日程 後期日程	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語	国 世B, 日B, 地理Bから1 現社, 倫, 政経, 倫政経から1 数Ⅰ・数A(必須) 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物基, 化基, 生基, 地学基から2 または 物, 化, 生, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [6教科7科目] または [6教科8科目]

【注意事項】

・前期日程について

- ① 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択解答することができる者は, 高等学校または中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。
- ② 「理科」については,
 - a. 「基礎を付していない科目」を2科目受験している場合は, 第1解答科目を判定に用います。
 - b. 「基礎を付した科目」2科目および「基礎を付していない科目」1科目を受験している場合は,

どちらか高得点の科目（「基礎を付した科目」の場合は2科目の合計点）を判定に用います。

c. 「理科」を2科目選択する場合は、「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む科目を選択しても構いません。

③ 「外国語」の「英語」については、リーディングおよびリスニングを課します。（リスニングを免除された場合は、リーディングのみとなります）

・後期日程について

① 解答した〔6教科7科目〕または〔6教科8科目〕のうち高得点の〔3教科3科目〕または〔3教科4科目〕を用います。

② 「地理歴史」、「公民」からは、1教科1科目のみ判定に用います。2教科2科目受験している場合には、第1解答科目を判定に用います。

③ 「数学」については、「数学①」と「数学②」をそれぞれ1科目として扱うので、「数学①」と「数学②」が高得点の〔3教科3科目〕または〔3教科4科目〕に該当する場合は、どちらか高得点の科目を判定に用います。

（「数学①」…数Ⅰ・数A 「数学②」…数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿，情報）

④ 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校または中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

⑤ 「理科」については、

a. 「基礎を付していない科目」を2科目受験している場合は、第1解答科目を判定に用います。

b. 「基礎を付した科目」2科目および「基礎を付していない科目」1科目を受験している場合は、どちらか高得点の科目（「基礎を付した科目」の場合は2科目の合計点）を判定に用います。

c. 「理科」を2科目選択する場合は、「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む科目を選択しても構いません。

⑥ 「外国語」の「英語」については、リーディングおよびリスニングを課します。（リスニングを免除された場合は、リーディングのみとなります）

・過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。令和4年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

(3) 経済経営学類

試験日程	受験を要する教科名	科目の選択方法
前期日程 後期日程	国語 地理歴史，公民	国 世B，日B，地理Bから2 または 世B，日B，地理Bから1および現社，倫，政経，倫政経から1
	数学	数Ⅰ・数A（必須） 数Ⅱ・数B，簿，情報から1
	理科	物基，化基，生基，地学基から2 または 物，化，生，地学から1
	外国語	英，独，仏，中，韓から1 〔5教科7科目〕，〔5教科8科目〕，〔6教科7科目〕 または〔6教科8科目〕

【注意事項】

① 「地理歴史」、「公民」については、2科目のうち少なくとも1科目は、「世界史B」、「日本史B」、「地理B」より選択することとします。

② 「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答することができる者は、高等学校または中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

③ 「理科」については、

a. 「基礎を付していない科目」を2科目受験している場合は、第1解答科目を判定に用います。

b. 「基礎を付した科目」2科目および「基礎を付していない科目」1科目を受験している場合は、どちらか高得点の科目（「基礎を付した科目」の場合は2科目の合計点）を判定に用います。

c. 「理科」を2科目選択する場合は、「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む科目を選択しても構いません。

④ 「外国語」の「英語」については、リーディングおよびリスニングを課します。（リスニングを免除された場合は、リーディングのみとなります）

⑤ 過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。令和4年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

(4) 共生システム理工学類

試験日程	受験を要する教科名	科目の選択方法
前期日程 後期日程	国語 地理歴史, 公民 数学 理科 外国語	国 世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫政経から1 数I, 数I・数Aから1 数II, 数II・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生, 地学から2 または 物基, 化基, 生基, 地学基から2および物, 化, 生, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕または〔5教科8科目〕

【注意事項】

- ① 「地理歴史」, 「公民」 から2科目受験している場合は, 第1解答科目を判定に用います。
- ② 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択解答することができる者は, 高等学校または中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。
- ③ 「理科」については, 「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む科目を選択しても構いません。
- ④ 「外国語」の「英語」については, リーディングおよびリスニングを課します。(リスニングを免除された場合は, リーディングのみとなります)
- ⑤ 過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。令和4年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

(5) 食農学類

試験日程	受験を要する教科名	科目の選択方法
前期日程 後期日程	国語 地理歴史, 公民 数学 理科 外国語	国 世B, 日B, 地理B, 現社, 倫, 政経, 倫政経から1 数I, 数I・数Aから1 数II, 数II・数B, 簿, 情報から1 物, 化, 生, 地学から2 または 物基, 化基, 生基, 地学基から2および物, 化, 生, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕または〔5教科8科目〕

【注意事項】

- ① 「地理歴史」, 「公民」 から2科目受験している場合は, 第1解答科目を判定に用います。
- ② 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択解答することができる者は, 高等学校または中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。
- ③ 「理科」については, 「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」で同一名称を含む科目を選択しても構いません。
- ④ 「外国語」の「英語」については, リーディングおよびリスニングを課します。(リスニングを免除された場合は, リーディングのみとなります)
- ⑤ 過年度の大学入学共通テストの成績については利用しません。令和4年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

2. 個別学力検査等実施教科・科目・出題範囲，試験日・試験時間および合格者決定方法等

(1) 人間発達文化学類

試験日程・コース		個別学力検査等	試験日	試験時間 ※
前期 日程	教育実践	小論文	2月25日 (金)	10:00～12:00 (120分)
	心理学・ 幼児教育	小論文 表現基礎検査 } から1 ※保育士資格取得を希望する者は表現基礎検査を， 保育士資格取得を希望しない者は小論文を選択し てください。		(小論文) 10:00～12:00 (120分) (表現基礎検査) 9:00～15:00 終了予定
	特別支援・ 生活科学	小論文		10:00～12:00 (120分)
	芸術・表現	実技検査 (音楽) 実技検査 (美術) } から1		(音楽) 10:00～15:00 終了予定 (美術) 10:00～13:00 終了予定
	人文科学	国語 (国語総合・現代文B・古典B) 英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ) 小論文 } から1		10:00～12:00 (120分)
	数理自然科学	数学 (数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B)		10:00～12:00 (120分)
	スポーツ 健康科学	実技検査		9:00～17:00 終了予定
後期 日程	すべての コース	小論文	3月12日 (土)	13:30～15:30 (120分)

※ 受験者は，試験開始時刻 25 分前までに各自試験室に入室してください。ただし，前期日程の心理学・幼児教育コース「表現基礎検査」の受験者は，試験開始時刻 25 分前まで，芸術・表現コース，スポーツ健康科学コースの受験者は，試験開始時刻 30 分前までに指定された場所に集合してください。また，スポーツ健康科学コースの受験者は，「運動着」に着替えを済ませて集合してください。

【注意事項】

(1) 個別学力検査等について

① 前期日程

教育実践コース，特別支援・生活科学コースは小論文^(※1)の試験を行います。

心理学・幼児教育コースは小論文^(※1)または表現基礎検査^(※2)の試験を行います。

芸術・表現コースは実技検査^(※3)を行います。

人文科学コースは国語または英語^(※4)または小論文^(※1)の試験を行います。

数理自然科学コースは数学^(※5)の試験を行います。

スポーツ健康科学コースは実技検査^(※3)を行います。

※1 小論文は，資料を与え，1,200 字程度で論述させ，理解力・思考力・表現力等を総合的にみます。

※2 「表現基礎検査」は作文，歌，造形等により，保育者になるための資質をみます。なお，楽器の演奏は求めません。動きやすい服および上靴を持参してください。

※3 実技検査の内容は 13 ページのとおりです。

※4 「英語」については，「音声内容」は含みません。

※5 「数学」の「数Ⅲ」は「極限・微分法・積分法」，「数B」は「数列」，「ベクトル」とします。

② 後期日程

教育実践コース，心理学・幼児教育コース，特別支援・生活科学コース，芸術・表現コース志望を A 系志望，人文科学コース，数理自然科学コース，スポーツ健康科学コース志望を B 系志望とします。

それぞれの募集人員を A 系志望 6 人，B 系志望 6 人とし，2 系とも小論文の試験を行います。

小論文は，資料を与え，1,200 字程度で論述させ，理解力・思考力・表現力等を総合的にみます。

(2) 合格者決定方法について

合格者の決定は，大学入学共通テストの成績および個別学力検査等の成績の総合点により行います (配点等については，16 ページを参照してください)。出身学校の調査書は選抜の基礎資料として利用します。

個別学力検査等を受験しなかった者は合格者とはなりません。

① 前期日程

a. 心理学・幼児教育コースでは，それぞれの個別学力検査等ごとに，小論文の上位 12 人，表現基

礎検査の上位 8 人を合格者とします。

b. 芸術・表現コースでは、それぞれの個別学力検査等ごとに、音楽の上位 6 人、美術の上位 6 人を合格者とします。

c. 人文科学コースでは、それぞれの個別学力検査等ごとに、国語の上位 20 人、英語の上位 20 人、小論文の上位 20 人を合格者とします。

② 後期日程

大学入学共通テストの成績および個別学力検査等の成績の総合点により序列化し、上位から合格者を決めます。第一志望の合格者が定員を満たしていても、第二志望の定員が満たされていない場合は、第二志望の系で合格となります。

(3) 実技検査の内容について

前 期 日 程	芸術・表現 コース	音楽	<p>音楽実技は、楽典（音楽史は含みません）をすべての受験者に課します。さらに、ピアノ、声楽、任意の楽器（鍵盤楽器以外）、作曲、音楽に関する記述問題の 5 つの科目から 2 つ（1 つを主科目にし、もう 1 つを副科目にする）を出願時に選択します。</p> <p>(1) ピアノ＝主科目にする場合は①から④の中から受験者が 1 曲を選び、くりかえしなしで暗譜演奏します。副科目にする場合は、⑤をくりかえしなしで暗譜演奏します。</p> <p>①モーツァルト作曲 ピアノソナタ イ長調 KV331 第 3 楽章 ②ベートーヴェン作曲 ピアノソナタ ハ短調 作品 13 第 3 楽章 ③ベートーヴェン作曲 ピアノソナタ 変ロ長調 作品 22 第 1 楽章 ④ベートーヴェン作曲 ピアノソナタ ニ長調 作品 28 第 1 楽章 ⑤ハイドン作曲 ピアノソナタ ニ長調 Hob. XVI/37 第 3 楽章</p> <p>(2) 声 楽＝実技検査当日に、主科目にする場合は①から③の中から、副科目にする場合は④と⑤の中から大学側が 1 曲を選び、暗譜で歌わせませ（歌詞は原語でも邦訳でもよい）。指定の調以外で歌う者は、願書提出の際、その伴奏譜を添付すること。</p> <p>①A・スカルラッティ作曲「O cessate di piagarmi」（イ短調、ホ短調、変ホ短調） ②F・シューベルト作曲「Seligkeit」（ホ長調、ニ長調） ③信時潔作曲「行々子」（嬰へ長調、ホ長調） ④コンコーネ 50 番から No. 18（変ロ長調、変イ長調、変ト長調）※母音「ア」で歌唱のこと。 ⑤磯部叔作曲「遙かな友に」（イ長調）</p> <p>(3) 任意の楽器＝受験者が用意した任意の楽器で任意の曲の演奏を行います。楽器は鍵盤楽器以外で、各自が用意してください。演奏は無伴奏とします。</p> <p>(4) 作 曲＝和声課題（四声体バス課題、12 小節程度、「3 和音基本位置」程度まで）を解きます（60 分）。</p> <p>(5) 音楽に関する記述問題＝音楽あるいは音楽教育に関する課題について、1,000 字程度で答えます（60 分）。</p>
		美術	<p>美術実技は、素描（鉛筆デッサン）を課し、基礎表現力を評価します。</p> <p>形態の把握力、観察力、表現力、描写力を重視して考査します（180 分）。 （持参品） 鉛筆、消し具、カッターナイフ</p>
	スポーツ健康 科学コース		<p>体育実技は、基礎運動技能検査および実技実績調査書により、総合的に評価します。</p> <p>1. 基礎運動技能検査 走跳投系技能検査（走跳投に関する基礎的技能） 巧緻系技能検査（全身的器用さ、ならびに平衡能力） 球技系技能検査（手や足、また道具を使ってボールを扱う技能）</p> <p>2. 実技実績調査書による評価 高等学校入学以降のスポーツ競技実績を、実技実績調査書により評価します。 （持参品）運動着、屋内および屋外用シューズ（靴底に突起物のついたものは不可） （注）① 実技検査の受験に当たっては、「運動着」に着替えを済ませて、朝集合してください。集合後に、着替えの時間はとりません。 ② 実技検査中の怪我、急病に備えて、健康保険証またはその写しを持参してください。 ③ 天候により変更になることがあります。</p>

(2) 行政政策学類

試験日程	個別学力検査等	試験日	試験時間
前期日程	小論文	2月25日(金)	13:30~15:30
後期日程	小論文	3月12日(土)	13:30~15:30

【注意事項】

- ① 個別学力検査等について
 小論文については、試験時に資料を与え、それに関して1,200字以内で論述させ、理解力・思考力・表現力を総合的に採点します。
 ア. 前期日程 出題する長文について、長文の読解力・要約力を重点的に問います。
 イ. 後期日程 出題する長文について、受験者の見解を論述させ、文章構成力を重点的に問います。
- ② 合格者決定方法について
 出身学校の調査書は、選抜の基礎資料として利用します。
 合格者の決定は、大学入学共通テストと個別学力検査等の成績を総合して高得点順に行います(配点等については、17ページを参照してください)。
 個別学力検査等を受験しなかった者は合格者とはなりません。

(3) 経済経営学類

試験日程	個別学力検査等	試験日	試験時間
前期日程	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ) } から1 小論文	2月26日(土)	(英語) 10:00~11:10 (小論文) 10:00~11:30
後期日程	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ) } から1 小論文	3月12日(土)	(英語) 10:00~11:10 (小論文) 10:00~11:30

【注意事項】

- ① 個別学力検査等について
 「英語」については、「音声内容」は含みません。
 「小論文」は、一定の素材を与え、それに関して1,200字以内で論述させ、読解力、知識活用力・表現力等を総合的にみます。
- ② 合格者決定方法について
 出身学校の調査書は、選抜の基礎資料として利用します。
 合格者の決定は、大学入学共通テストと個別学力検査等の成績を総合して高得点順に行います(配点等については、17ページを参照してください)。
 個別学力検査等を受験しなかった者は合格者とはなりません。
- ③ 得点調整について
 個別学力検査等における選択教科・科目間で、試験問題の難易度に差が認められた場合には得点調整を行います。

(4) 共生システム理工学類

試験日程	個別学力検査等	試験日	試験時間
前期日程	理科(物基・物、化基・化、生基・生から1) および数学(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B)	2月26日(土)	10:00~12:00
後期日程	数学(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B)	3月12日(土)	10:00~11:20

【注意事項】

- ① 個別学力検査等について
前期日程の「理科」の「物理」，「化学」，「生物」は全領域とします。
前期日程および後期日程の「数学」の「数B」は，「数列」，「ベクトル」とします。
- ② 合格者決定方法について
出身学校の調査書は，選抜の基礎資料として利用します。
合格者の決定は，大学入学共通テストの成績および個別学力検査等の成績の総合点により行います（配点等については，18 ページを参照してください）。
個別学力検査等を受験しなかった者は合格者とはなりません。
- ③ 得点調整について
個別学力検査等における選択科目間で，試験問題の難易度に差が認められた場合には得点調整を行います。

(5) 食農学類

試験日程	個別学力検査等	試験日	試験時間
前期日程	物基・物 化基・化 生基・生 数学 (数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B) 英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ)	から2 2月26日(土)	10:00~12:00
後期日程	数学 (数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B) 英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ)	から1 3月12日(土)	10:00~11:00
	面接(必須)		12:30~17:00(予定)

【注意事項】

- ① 個別学力検査等について
前期日程の「理科」の「物理」，「化学」，「生物」は全領域とします。
前期日程の「理科」について，物基・物，化基・化，生基・生から2科目の選択も可能です。
前期日程および後期日程の「数学」の「数B」は，「数列」，「ベクトル」とします。
前期日程および後期日程の「英語」については，「音声内容」は含みません。
後期日程の面接は，調査書の内容を中心に質問を行い，本学類への進学意欲や問題意識を総合的に評価します。
- ② 合格者決定方法について
出身学校の調査書は，選抜の基礎資料として利用します。
合格者の決定は，大学入学共通テストの成績および個別学力検査等の成績の総合点により行います（配点等については，18 ページを参照してください）。
個別学力検査等を受験しなかった者は合格者とはなりません。
- ③ 得点調整について
個別学力検査等における選択科目間で，試験問題の難易度に差が認められた場合には得点調整を行います。

V 大学入学共通テストおよび個別学力検査等の配点

入学者の選抜は、大学入学共通テスト、個別学力検査等（個別学力検査、実技検査、小論文および面接）に基づいて行います。大学入学共通テストおよび個別学力検査等の配点等は以下のとおりです。

※ 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、令和4年度一般選抜（前期日程・後期日程）における調査書を用いた主体性等評価は行いません。

1. 人間発達文化学類

試験教科等 試験日程・コース		試験区分	学力検査					実技検査	小論文	表現基礎検査	小計	総点	主体性等評価
			国語	歴史、公民	数学	理科	外国語						
前期日程	教育実践	共通テスト	200	200 *100	200	100 *200	200				900	1,300	
		個別学力検査等							400		400		
		主体性等評価											
	心理学・幼児教育	共通テスト	200	200 *100	200	100 *200	200				900	1,300	
		個別学力検査等							(400)	(400)	400		
		主体性等評価											
	特別支援・生活科学	共通テスト	200	200 *100	200	100 *200	200				900	1,300	
		個別学力検査等							400		400		
		主体性等評価											
	芸術・表現	共通テスト	200	200 *100	200	100 *200	200				900	1,500	
		個別学力検査等							600		600		
		主体性等評価											
	人文科学	共通テスト	200	200 *100	200	100 *200	200				900	1,300	
		個別学力検査等	(400)					(400)	(400)		400		
主体性等評価													※30
数理自然科学	共通テスト	200	200 *100	200	100 *200	200				900	1,300		
	個別学力検査等			400						400			
	主体性等評価												※30
スポーツ健康科学	共通テスト	200	200 *100	200	100 *200	200				900	1,500		
	個別学力検査等							600		600			
	主体性等評価												※30
後期日程	すべてのコース	共通テスト	200	200 *100	200	100 *200	200				900	1,100	
		個別学力検査等							200		200		
		主体性等評価											

【注意事項】

- ① 配点に（ ）を付してある教科は、選択教科を表します。
- ② 「地理歴史」、「公民」、「理科」について
上段は、「地理歴史」、「公民」から2科目が用いられた場合の配点を表します。
下段は、「理科」から2科目が用いられた場合の配点を表します。
- ③ 大学入学共通テスト「外国語」の「英語」については、リーディングの得点を200点満点に、リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点（250点満点）を、配点（200点満点）に圧縮して利用します。
リスニングを免除された場合は、リーディングの得点を、配点（200点満点）に換算して利用します。
「英語」以外の「外国語」の場合は、筆記の得点をそのまま利用します。

2. 行政政策学類

試験教科等 試験日程	試験区分	学力検査						小論文	小計	総点	主体性等評価
		国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語				
前期日程	共通テスト	150	75	75	100	50	150		600	800	
	個別学力検査等 主体性等評価 【B選考のみ加算】							200	200		
	後期日程	共通テスト	☆100	☆100	☆100	☆100	☆100	☆100		300	400
個別学力検査等 主体性等評価 【B選考のみ加算】								100	100		

【注意事項】

(1) 前期日程について

- 「国語」については、得点を配点（150点満点）に圧縮して利用します。
- 「地理歴史」、「公民」については、それぞれの得点を配点（75点満点）に圧縮して利用します。
- 「数学」については、「数学①」と「数学②」の合計得点（200点満点）を配点（100点満点）に圧縮して利用します。
 （「数学①」…数Ⅰ・数A 「数学②」…数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿，情報）
- 「理科」については、得点を配点（50点満点）に圧縮して利用します。
- 「外国語」の「英語」については、リーディングの得点を200点満点に、リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点（250点満点）を、配点（150点満点）に圧縮して利用します。
 なお、リスニングを免除された場合は、リーディングの得点を、配点（150点満点）に換算して利用します。
 「英語」以外の「外国語」の場合は、筆記の得点を配点（150点満点）に換算して利用します。

(2) 後期日程について

- ☆印を付してある〔6教科7科目〕または〔6教科8科目〕のうち高得点の〔3教科3科目〕または〔3教科4科目〕を用います。
- 「国語」については、得点を配点（100点満点）に圧縮して利用します。
- 「地理歴史」、「公民」からは1教科1科目のみ判定に用います。2教科2科目受験している場合には、第1解答科目を判定に用います。
- 「数学」については、「数学①」と「数学②」をそれぞれ1科目として扱うので、「数学①」と「数学②」が高得点の〔3教科3科目〕または〔3教科4科目〕に該当する場合は、どちらか高得点の科目を判定に用います。
- 「外国語」の「英語」については、リーディングの得点を200点満点に、リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点（250点満点）を、配点（100点満点）に圧縮して利用します。
 なお、リスニングを免除された場合は、リーディングの得点をそのまま利用します。
 「英語」以外の「外国語」の場合は、筆記の得点を配点（100点満点）に換算して利用します。

3. 経済経営学類

試験教科等 試験日程	試験区分	学力検査					小論文	小計	総点	主体性等評価
		国語	地歴、公民	数学	理科	外国語				
前期日程	共通テスト	200	400	200	100	200		1,100	1,500	
	個別学力検査等 主体性等評価 【B選考のみ加算】		200	400			(400)	(400)		400
	後期日程	共通テスト	200	200	200	100	200		900	1,100
個別学力検査等 主体性等評価 【B選考のみ加算】						(200)	(200)	200		

【注意事項】

- 配点に（ ）を付してある教科は、選択教科を表します。
- 前期日程においては、「地理歴史」、「公民」の合計得点と「数学」2科目の合計得点とを比較し、合計得点の高い2科目について傾斜配点します。
 上段は、「地理歴史」、「公民」の合計得点の方が高い場合で、「地理歴史」、「公民」の得点をそれぞれ2倍にした場合の配点を表します。
 下段は、「数学」2科目の合計得点の方が高い場合で、「数学」2科目の得点をそれぞれ2倍にした場合の配点を表します。
- 大学入学共通テスト「外国語」の「英語」については、リーディングの得点を200点満点に、リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点（250点満点）を、配点（200点満点）に圧縮して利用します。
 なお、リスニングを免除された場合は、リーディングの得点を、配点（200点満点）に換算して利用します。
 「英語」以外の「外国語」の場合は、筆記の得点をそのまま利用します。

4. 共生システム理工学類

試験日程	試験区分	学力検査					小計	総点	主体性等評価
		国語	地歴、公民	数学	理科	外国語			
前期日程	共通テスト	200	100	200	200	200	900	1,300	
	個別学力検査等			200	200		400		
	主体性等評価 【B選考のみ加算】							※30	
後期日程	共通テスト	200	100	200	200	200	900	1,200	
	個別学力検査等			300			300		
	主体性等評価 【B選考のみ加算】							※30	

【注意事項】

- ① 「外国語」の「英語」については、リーディングの得点を200点満点に、リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点(250点満点)を、配点(200点満点)に圧縮して利用します。
 なお、リスニングを免除された場合は、リーディングの得点を、配点(200点満点)に換算して利用します。
 「英語」以外の「外国語」の場合は、筆記の得点をそのまま利用します。

5. 食農学類

試験日程	試験区分	学力検査					面接	小計	総点	主体性等評価
		国語	地歴、公民	数学	理科	外国語				
前期日程	共通テスト	200	100	200	200	200		900	1,300	
	個別学力検査等			(200)	(200)	(200)		400		
	主体性等評価 【B選考のみ加算】								※30	
後期日程	共通テスト	200	100	200	200	200		900	1,200	
	個別学力検査等			(200)		(200)	100	300		

【注意事項】

- ① 配点に()を付してある教科は、選択教科・科目を表します。
 ② 大学入学共通テスト「外国語」の「英語」については、リーディングの得点を200点満点に、リスニングの得点を50点満点に換算した合計得点(250点満点)を、配点(200点満点)に圧縮して利用します。
 なお、リスニングを免除された場合は、リーディングの得点を、配点(200点満点)に換算して利用します。
 「英語」以外の「外国語」の場合は、筆記の得点をそのまま利用します。

VI 出願手続

1. 出願方法

インターネット出願となりますが、**インターネット出願登録（下記 Step 1）だけでは出願手続は完了しません。** 出願手続の手順は以下のとおりですので、よく確認してください。

事前準備	学生募集要項の確認 (詳細は 19～20 ページ)	出願手続を始める前に、この学生募集要項をよく読んで、内容を確認してください。
▼		
Step 1	インターネット出願登録 (詳細は 20 ページ)	出願登録期間内に、下記アドレスからインターネット出願サイトにアクセスして必要な情報を入力してください。 (https:// e-apply.jp/e/fukushima-u/)
▼		
Step 2	検定料の支払い (詳細は 20 ページ)	インターネット出願サイトの指示に従い、検定料を支払ってください(検定料免除申請をする場合は支払わないでください)。
▼		
Step 3	必要書類の印刷 (詳細は 21～22 ページ)	インターネット出願サイトから必要書類を印刷してください。
▼		
Step 3	必要書類の送付 (詳細は 21 ページ)	インターネット出願サイトおよび本学ウェブサイトから印刷した必要書類と、他の全ての必要書類を出願期間内に本学へ届くよう「一般書留速達」で郵送してください。
▼		
Step 4	受験票の印刷 (詳細は 22 ページ)	出願が受理された方は、出願期間後にインターネット出願サイトから受験票を印刷できるようになります。入学志願者各自がカラー印刷して、必ず試験当日に持参してください。

2. 事前準備

インターネット出願登録の前に、あらかじめ余裕をもって確認および準備をしてください。	
パソコン等の準備	<p>インターネット出願は、以下の環境で行ってください。</p> <p><ブラウザ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・Microsoft Internet Explorer 11 以降 Microsoft Edge ・Google Chrome 65 以降 ・Mozilla Firefox 59 以降 ・Apple Safari 8 以降 <p><パソコン></p> <ul style="list-style-type: none"> ・Microsoft Windows 8.1/10 ・Apple Mac OS X 10.8-11 <p>※ブラウザのタブ機能を使用して複数のタブで同時に申込操作を行うと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合があります。複数タブでの同時申込操作はしないでください。</p> <p>※スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末は、閲覧等は可能ですが推奨環境ではありませんので、一部の端末からは画面が正常に表示されない場合があります。また、印刷をするための印刷機能を必要としますので、パソコンからの利用を推奨します。</p>

メールアドレスの準備およびメールの設定	<p>出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを準備してください。スマートフォン、携帯電話等のメールアドレスも利用可能です。なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。</p> <p>@e-apply.jp</p> <p>出願時に登録したメールアドレスに、以下の4回メールが送信されます。</p> <p>①インターネット出願登録入力中のテストメール ②出願登録情報の入力完了時の自動送信メール ③検定料支払完了時の自動送信メール ④受験票が取得・印刷可能になった際の通知メール</p> <p>※受験票を印刷するまで、メールアドレスは変更しないでください。</p>
入学志願者本人写真（データ）の準備	<p>インターネット出願登録にあたって、カラーの顔写真データ（jpeg・jpg・png・bmp）が必要です（受験票に顔写真が掲載されることとなります）。</p> <p>写真は本人確認に使用しますので、インターネット出願ページにて出願前3か月以内に正面向、上半身、脱帽、背景なしで撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。写真の比率は縦4cm×横3cm、ファイルサイズは2MBまでです。</p> <p>以下の【使用できない写真の例】に該当するような、本人確認に支障のある写真の場合は、出願を受け付けられないことがあるので注意してください。</p> <p>【使用できない写真の例】</p> <p>不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、化粧や前髪が目にかかるなどで本人確認が困難、複数名で写っている、画像に加工を施している、現像された写真を再撮影しているもの等。</p>
その他必要書類の準備	<p>高等学校等が発行する「調査書」「実技実績調査書」等、インターネット出願サイトから印刷する様式以外の紙媒体の書類を、出願期間に間に合うようあらかじめ準備してください。（7. 出願書類等参照）</p>
角形2号封筒の準備	<p>出願書類提出のために、市販の角形2号封筒（240mm×332mm）を準備してください。試験日程ごと（前期日程、後期日程）に別々に準備してください。</p>
様式印刷の準備（プリンタ、印刷用紙等）	<p>インターネット出願サイトから出力する様式類は、A4サイズの印刷用紙にカラー印刷する必要がありますので、カラープリンタおよび印刷用紙を準備してください。印刷条件に適合していれば、公共施設やコンビニエンスストアの印刷サービスを利用して印刷しても構いませんが、個人情報の取り扱いには十分注意してください。</p> <p>印字が不鮮明で事実確認ができない場合は、本人に問い合わせをする場合があります。</p>

3. インターネット出願登録期間（Step 1）

令和4年1月22日（土）～2月4日（金） 午後4時30分まで

4. 検定料の支払い（Step 2）

検定料は**前期日程、後期日程ともに17,000円**です。インターネット出願サイトの支払い方法を参照して、「クレジットカード」「ネットバンキング」「コンビニエンスストア」「ペイジー対応銀行ATM」のいずれかの方法で払い込んでください（払込手数料が別途必要です）。

【払込期間】

令和4年1月22日（土）～2月4日（金） 午後4時30分まで（期間外は払い込みできません）
なお、支払期限はインターネット出願登録を完了した日を含む4日間です（出願締切が4日より短い場合、出願締切が優先されます）。

出願書類を受理した後は、いかなる理由があっても検定料は返還できません。ただし次の場合は検定料返還請求ができますので下記に申し出てください。

- ア. 検定料を払い込んだが、出願しなかった（出願書類を提出しなかったまたは出願が受理されなかった）
- イ. 検定料を誤って二重に払い込んだ
- ウ. 出願期間終了までに、検定料免除に該当することを証明する書類を取得できなかったものの、出願期間終了後に取得した
- エ. 本学が指定した大学入学共通テストの受験教科・科目の不足等による出願無資格者であることが判明した（13,000円を返還）

なお、請求方法等については、該当者へ個別に通知します。

また、返還の際の振込手数料は請求者負担となります。

検定料返還に関する問合せ先：福島大学財務課出納係

☎024-548-8015

※検定料免除について

本学では、東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故ならびに平成 23 年度以降において豪雨災害等の激甚災害で被災された方の経済的負担を軽減し、被災受験者の進学機会の確保を図るために、令和 3 年度に行われる全ての入試において、検定料免除の特別措置を行います。

免除の条件については 32 ページの「XV 東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について」を確認してください。

なお、検定料免除申請を行う場合は、出願時に検定料を払い込まないでください。

5. 出願期間 (Step 3)

令和 4 年 1 月 24 日 (月) から 2 月 4 日 (金)

※ただし、持参の場合、出願期間最終日 2 月 4 日 (金) の入試課の窓口受付時間は午後 5 時までです。

6. 出願書類提出先 (Step 3)

福島大学入試課 〒960-1296 福島市金谷川 1 番地 ☎024-548-8064

7. 出願書類等 (Step 3)

入学志願者は、次の書類を取り揃え、一般書留速達にして郵送してください。出願期間を過ぎた場合は受理できません。郵送期間を十分に考慮して早めに送付してください。ただし、令和 4 年 2 月 4 日 (金) 以前の発信局消印のある一般書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理します。

なお、高等学校で数人分まとめて提出する場合も、出願書類提出用封筒に一人分ずつ入れ、一括して別封筒に封入の上、郵送 (一般書留速達) または持参してください。

持参の場合、入試課の窓口受付時間は平日の午前 9 時から午後 5 時までです。

出願に必要な書類	摘 要
1. 入学志願票 (◇)	インターネット出願サイトから A 4 サイズでカラー印刷してください。 前期日程の入学志願者は『 <u>前</u> 国公立前期日程用』、後期日程の入学志願者は『 <u>後</u> 国公立後期日程用』の『令和 4 共通テスト成績請求票』を指定の場所に貼り付けるのを忘れないようにしてください。
2. 調査書	出身学校長が作成し厳封したもの
3. 実技実績調査書 (◆) (人間発達文化学類前期日程 スポーツ健康科学コース 入学志願者のみ)	本学所定の用紙 出身学校長が作成したもの
4. 検定料免除申請書 (◆) および添付書類 (申請者のみ)	本学所定の用紙 なお、検定料免除申請を行う場合は、試験日程ごと (前期日程、後期日程) に別々に申請するとともに、出願時に検定料を払い込まないでください。
出願書類提出用封筒	各自で準備した市販の角形 2 号 (240mm×332mm) の封筒に、上記 1～4 の必要書類で該当するものを封入し、一般書留速達で郵送してください。 試験日程ごと (前期日程、後期日程) に別々の封筒に入れて郵送してください。 持参する場合も、試験日程ごと (前期日程、後期日程) に別々の封筒に入れて提出してください。
出願書類提出用宛名シート (◇)	インターネット出願サイトからカラーで印刷し、「出願書類提出用封筒」のおもて面にはがれないよう全面のり付けで貼付してください。 出願に必要な書類を封入し、宛名シートの出願者チェック欄において、出願書類に漏れがないことをチェックしてください。 試験日程ごと (前期日程、後期日程) に別々に印刷してください。

8. 出願書類作成上の注意事項 (Step 3)

- (1) 表中の「◇」印の書類はインターネット出願登録後にインターネット出願サイトからA4サイズでカラー印刷する書類です。
インターネット出願登録完了後は、登録内容の修正はできませんので、誤入力のないよう注意してください。
- (2) 表中の「◆」印の書類は、本学ウェブサイトから様式をA4サイズでモノクロ印刷（複数ページの場合は両面印刷）して作成する書類です。
(本学ウェブサイト「入試情報－募集要項」(<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html>))
黒か青のボールペンまたは万年筆を用い、楷書で記入してください。パソコンによる作成も可です。
- (3) 押印が必要な書類もありますので注意してください。
- (4) 表中の1～4以外で、誤って記入した場合は、誤記入の部分を二重線で消し訂正してください。
- (5) 廃校、被災または保存期間超過による廃棄など種々の事情により出身学校の調査書を得られない者は、卒業証明書および成績証明書（成績通信簿）を提出してください。提出は原本に限ります。原本の返却を希望する場合は「返送用封筒」を各自で準備し、切手を貼り付けて、出願書類に同封してください。また、これらの卒業証明書等が整わない場合には、本学入試課へ問い合わせてください。
- (6) 出願資格(3)①～⑤（8ページ参照）により出願を希望する者は、出願資格を証明するものを調査書に代えて提出してください。高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定）合格（見込み）者は、合格成績証明書（合格見込みの者は、合格見込成績証明書）を提出してください。なお、高等学校等において一部科目を修得し免除された者は、在学期間中の調査書または成績証明書も提出してください。提出は原本に限ります。原本の返却を希望する場合は「返送用封筒」を各自で準備し、切手を貼り付けて、出願書類に同封してください。また、日本語以外で書かれた証明書には、その日本語訳を必ず添付してください。
- (7) 出願書類に次のような不備のある場合は受理できませんので注意してください。
 - ① 入学志願票等に、記入漏れまたは誤記入があるもの
 - ② 出願書類として添付が必要な証明書等が、同封されていないもの
- (8) 出願書類受理後、出願の取り消し、書類の返却および志望等の変更（志望学類・コース等、個別学力検査選択科目、音楽実技検査選択科目等）は認めません。
- (9) 出願書類について虚偽の記載があった場合は、入学を取り消すことがあります。

9. 大学入学共通テスト受験教科・科目自己確認表 (Step 3)

志望する学類（コース）が課すすべての教科・科目を受験しているか、24ページ以降に掲載している自己確認表を用い、各自で必ずチェックして出願してください。確認の際には、9～11ページで受験を要する教科等をよく確認してください。1つでも受験していない教科・科目がある者は出願できませんので注意してください。

また、出願書類受理後に受験教科・科目の不足が判明した場合には、出願資格を満たしていない個別学力検査等を受験することはできません。

なお、自己確認表は提出する必要はありません。

10. 受験票の印刷について (Step 4)

受験票は、出願期間後にインターネット出願サイトから印刷できるようになります。

カラー印刷し、切り取り線に沿ってはさみで切り、試験当日に必ず持参してください。

出願時に登録されたメールアドレスへ、受験票の印刷ができるようになったことをお知らせするメールをお送りしますが、プロバイダによりメールが届かない場合でも、令和4年2月11日（金）以降にインターネット出願サイトにログインして受験票を印刷してください。

また、「大学入学共通テスト受験票」も必ず持参してください。

11. 出願に際しての留意事項

- (1) 他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く）の学校推薦型選抜、総合型選抜合格者は、本学が行う個別学力検査等を受験しても合格者とはなりませんので注意してください。
ただし、当該学校推薦型選抜、総合型選抜を実施する大学・学部の定める入学辞退手続により入学の辞退を許可された場合は除きます。
※公立大学協会ウェブサイト (<http://www.kodaikyo.org/nyushi>) 参照
- (2) 同一試験日程グループの二つの大学・学部に出願することはできません。
したがって、「前期－前期」、「後期－後期」の併願はできません。
- (3) 本学一般選抜において、異なる試験日程の学類間または同一学類への併願を認めます。ただし、併

願する場合は出願書類をそれぞれの試験日程別に作成し、出願してください。

- (4) 本学および他大学の「前期日程試験」に合格し入学手続を行った者は、「後期日程試験」を受験してもその合格者とはなりません。

12. 障がい等のある入学志願者の事前相談

病気・負傷や障がい等のある入学志願者で、受験上および修学上特別な配慮を必要とする場合は、令和4年1月5日(水)までに、本学入試課に申し出てください。

試験日の直前の申し出の場合には、特別な配慮への対応ができないことがあります。

申し出に基づく事前相談は以下によります。

- (1) 相談の時期 令和4年1月12日(水)まで
- (2) 相談の方法
 - ・事前相談申請書(本学所定様式*)に健康診断書等必要書類(具体的には問い合わせてください)を添付し、(1)の期日までに提出してください。
 - ・*本学ウェブサイトの「入試情報」(<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html>)からダウンロードできます。
 - ・大学入学共通テストの受験上の配慮決定を受けた者は、大学入試センターからの「受験上の配慮事項決定通知書」の写しも提出してください。
 - ・その場合、健康診断書等については大学入試センターへ提出した写しで構いません。
 - ・申請書の内容により、必要に応じて面談等を行うことがあります。
- (3) 連絡先 福島大学入試課 〒960-1296 福島市金谷川1番地 TEL024-548-8064
- (4) その他
 - ・各学類とも、この事前相談の内容等を合否判定のための資料には用いません。
 - ・上記期日以降に相談の必要な事由が発生した場合は、速やかに申し出てください。
 - ・参考
本学ウェブサイト「身体等に障がいのある学生の支援」(<http://www.fukushima-u.ac.jp/university/know/disability.html>)

○ 人間発達文化学類、共生システム理工学類および食農学類への志願の際の注意事項

言語、視覚、聴覚および運動機能に障がいのある者は、障がいの程度によっては教育課程の履修が困難な場合がありますので、これらの障がいを持つ者で不安がある者は、できるだけ早い時期に上記連絡先にあらかじめ問い合わせた上で出願してください。

13. 出願状況についての情報提供

各学類の入学志願者数について、本学ウェブサイトの「入試情報」にて情報提供を実施します。

- (1) 実施期間 令和4年1月26日(水) 午後6時から
 - (2) 本学ウェブサイトの「入試情報」(<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)をご覧ください。
- (注) 福島大学スマートフォン対応サイトからも入学志願者数を確認できます。



《人間発達文化学類》前期日程および後期日程

(注：確認の際には、9ページで受験を要する教科等をよく確認してください)

試験日程	コース	受験を要する教科名等	科目の選択方法	☐受験科目に✓をつける	☑必要科目を受験していることを✓をつけて確認する。		
前後 期期 日日 程程	すべてのコース	国語	国語	<input type="checkbox"/>	1科目チェックしている <input type="checkbox"/>		
		地理歴史、公民	世界史A 世界史B 日本史A 日本史B 地理A 地理B 現代社会 倫理 政治・経済 倫理、政治・経済	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1科目チェックしている <input type="checkbox"/> →理科<選択①>を確認 2科目チェックしている <input type="checkbox"/> →理科<選択②>を確認		
		理科	〔パターン1〕 物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎	〔選 択 ①〕	物理 化学 生物 地学	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	から2 基礎を付した2科目+1科目 合計3つチェックしている
					から1	または <input type="checkbox"/>	
			〔パターン2〕 物理 化学 生物 地学	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	から2 基礎を付していない科目 2科目チェックしている		
			〔パターン1〕 物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎	〔選 択 ②〕	物理 化学 生物 地学	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	から2 基礎を付した科目 2科目チェックしている
		から1 基礎を付していない科目 1科目チェックしている	または <input type="checkbox"/>				
		数学	数学Ⅰ 数学Ⅰ・数学A	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1科目チェックしている <input type="checkbox"/>		
			数学Ⅱ 数学Ⅱ・数学B 簿記・会計 情報関係基礎	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1科目チェックしている <input type="checkbox"/>		
		外国語	英語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1科目チェックしている <input type="checkbox"/>		
合計	<選択①> [5教科7科目] または [5教科8科目] <選択②> [5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目] または [6教科8科目]		【最終確認】 この欄に、6つの✓が入っていますか？ ・入っている →出願に必要な科目を受験していますので、 出願書類の確認欄に○印をつけてください。 ※出願してから受験科目が不足していることが判明すると、 個別学力検査等は受験出来ません。 ・入っていない →受験科目が不足しています。出願できません。 もう1度確認してください。				

提出不要

《行政政策学類》前期日程および後期日程

(注：確認の際には、9～10ページで受験を要する教科等をよく確認してください)

試験日程	受験を要する教科名等	科目の選択方法	<input type="checkbox"/> 受験科目に ✓をつける	<input type="checkbox"/> 必要科目を受験していることを✓をつけて確認する。
前後 期期 日日 程程	国語	国語	<input type="checkbox"/>	チェックしている <input type="checkbox"/>
	地理歴史	世界史B 日本史B 地理B	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	} 1科目チェックしている <input type="checkbox"/>
	公民	現代社会 倫理 政治・経済 倫理, 政治・経済	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
	数学	数学Ⅰ・数学A	<input type="checkbox"/>	チェックしている <input type="checkbox"/>
		数学Ⅱ 数学Ⅱ・数学B 簿記・会計 情報関係基礎	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	} 1科目チェックしている <input type="checkbox"/>
	理科	物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
			物理 化学 生物 地学	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
外国語	英語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	} 1科目チェックしている <input type="checkbox"/>	
合計	〔6教科7科目〕 または〔6教科8科目〕		<p>【最終確認】 この欄に、7つの✓が入っていますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入っている →出願に必要な科目を受験していますので、出願書類の確認欄に○印をつけてください。 ※出願してから受験科目が不足していることが判明すると、個別学力検査等は受験出来ません。 ・入っていない →受験科目が不足しています。出願できません。 もう1度確認してください。 	

提出不要

《経済経営学類》前期日程および後期日程

(注：確認の際には、10 ページで受験を要する教科等をよく確認してください)

試験日程	受験を要する教科名等	科目の選択方法	<input type="checkbox"/> 受験科目に ✓をつける	<input type="checkbox"/> 必要科目を受験していることを✓をつけて確認する。	
前後 期 日 程	国語	国語	<input type="checkbox"/>	チェックしている <input type="checkbox"/>	
	地理歴史、公民	【パターン1】 世界史B 日本史B 地理B	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	}	地理歴史の 2科目チェックしている
		【パターン2】 世界史B 日本史B 地理B	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
		現代社会 倫理 政治・経済 倫理、政治・経済	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	から1 地理歴史1科目 +公民1科目の 合計2科目チェックしている	
	数学	数学Ⅰ・数学A	<input type="checkbox"/>	チェックしている <input type="checkbox"/>	
		数学Ⅱ・数学B 簿記・会計 情報関係基礎	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1科目チェックしている <input type="checkbox"/>	
	理科	【パターン1】 物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	}	基礎を付した科目 2科目チェックしている
		【パターン2】 物理 化学 生物 地学	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
	外国語	英語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1科目チェックしている <input type="checkbox"/>	
	合計	[5教科7科目], [5教科8科目], [6教科7科目] または [6教科8科目]			<p>【最終確認】 この欄に、6つの✓が入っていますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入っている → 出願に必要な科目を受験していますので、出願書類の確認欄に○印をつけてください。 ※ 出願してから受験科目が不足していることが判明すると、個別学力検査等は受験出来ません。 ・入っていない → 受験科目が不足しています。出願できません。もう1度確認してください。

提出不要

《共生システム理工学類》前期日程および後期日程

(注：確認の際には、11 ページで受験を要する教科等をよく確認してください)

試験日程	受験を要する教科名等	科目の選択方法	<input type="checkbox"/> 受験科目に ✓をつける	<input type="checkbox"/> 必要科目を受験していることを✓をつけて確認する。	
前後 期 日 程	国語	国語	<input type="checkbox"/>	チェックしている <input type="checkbox"/>	
	地理歴史、公民	世界史B 日本史B 地理B	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	} 1科目以上チェックしている <input type="checkbox"/>	
		現代社会 倫理 政治・経済 倫理、政治・経済	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
	数学	数学Ⅰ 数学Ⅰ・数学A	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	} 1科目チェックしている <input type="checkbox"/>	
		数学Ⅱ 数学Ⅱ・数学B 簿記・会計 情報関係基礎	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	} 1科目チェックしている <input type="checkbox"/>	
	理科	【パターン1】 物理 化学 生物 地学	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	} から2 基礎を付していない科目 2科目チェックしている または <input type="checkbox"/>	
		【パターン2】 物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		} から2 基礎を付した2科目 +基礎を付していない1科目以上の 合計3科目以上チェックしている
		物理 化学 生物 地学	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		} から1
	外国語	英語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	} 1科目チェックしている <input type="checkbox"/>	
	合計	[5教科7科目] または [5教科8科目]			<p>【最終確認】 この欄に、6つの✓が入っていますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入っている → 出願に必要な科目を受験していますので、出願書類の確認欄に○印をつけてください。 ※ 出願してから受験科目が不足していることが判明すると、個別学力検査等は受験出来ません。 ・入っていない → 受験科目が不足しています。出願できません。もう1度確認してください。

《食農学類》前期日程および後期日程

(注：確認の際には、11 ページで受験を要する教科等をよく確認してください)

試験日程	受験を要する教科名等	科目の選択方法	☐受験科目に✓をつける	☑必要科目を受験していることを✓をつけて確認する。
前後 期 日 程	国語	国語	<input type="checkbox"/>	チェックしている <input type="checkbox"/>
	地理歴史, 公民	世界史B 日本史B 地理B	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	} 1科目以上チェックしている <input type="checkbox"/>
		現代社会 倫理 政治・経済 倫理, 政治・経済	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
	数学	数学Ⅰ 数学Ⅰ・数学A	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	} 1科目チェックしている <input type="checkbox"/>
		数学Ⅱ 数学Ⅱ・数学B 簿記・会計 情報関係基礎	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	} 1科目チェックしている <input type="checkbox"/>
	理科	【パターン1】 物理 化学 生物 地学	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	} から2 基礎を付していない科目 2科目チェックしている または <input type="checkbox"/>
		【パターン2】 物理基礎 化学基礎 生物基礎 地学基礎	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
		物理 化学 生物 地学	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
	外国語	英語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	} 1科目チェックしている <input type="checkbox"/>
	合計	〔5教科7科目〕 または〔5教科8科目〕		<p>【最終確認】 この欄に、6つの✓が入っていますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入っている <ul style="list-style-type: none"> →出願に必要な科目を受験していますので、出願書類の確認欄に○印をつけてください。 ※出願してから受験科目が不足していることが判明すると、個別学力検査等は受験出来ません。 ・入っていない <ul style="list-style-type: none"> →受験科目が不足しています。出願できません。もう1度確認してください。

Ⅶ 試験当日に持参するもの

- ① **福島大学受験票**
- ② **大学入学共通テスト受験票**
- ③ 筆記用具（黒鉛筆，シャープペンシル（黒い芯に限る），鉛筆削り，消しゴム）
- ④ 時計（計時機能だけのもの）
- ⑤ 実技検査に必要なもの※（実技検査受験者のみ）
※13 ページに掲載してありますので，受験する実技検査の項目をよく確認してください。

Ⅷ 試験場

試験場は福島大学（福島市金谷川1番地）です。

本要項末の大学案内図を参照してください。試験室および控室等については，試験当日，受験に関する掲示板に掲載します。ただし，志願状況によっては，試験場の一部を変更することがあります。その場合には，該当者に別途その旨通知します。

令和4年1月下旬までには，受験上の案内を本学ウェブサイトの「入試情報」

(<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>) に掲載しますので，必ず確認してください。

試験場への入場の際，福島大学受験票および大学入学共通テスト受験票の両方の提示により，本人確認の上，入場を許可しますので，両方の受験票を必ず持参してください。

Ⅸ 合格者発表

合格者の発表は，下記の日程で本学中央広場の掲示板および本学ウェブサイトの「入試情報」

(<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>) に受験番号を掲載するとともに，合格者には「合格通知書」および入学に必要な手続・諸会費等を記載した「入学手続の手引き」を日本郵便の「レターパックプラス」で郵送します。

(注) 1. 電話等による可否の問い合わせには応じません。

2. 合格者発表当日は，インターネット回線が混雑するため，つながりにくい場合があります。

試験日程	発表日	発表時刻
前期日程	3月6日（日）	午前11時
後期日程	3月20日（日）	午前11時

JR福島駅およびJR金谷川駅周辺で行われている合否電報受付等については，本学は一切関知していませんので十分注意してください。

X 追加合格

入学手続期間終了後，欠員が生じた場合は，3月28日（月）以降に「追加合格」を行うことがあります。

その場合，入学の意志確認は電話により行いますので，必ず入学志願票所定の欄に入学志願者本人の連絡先として住所および電話番号を記入してください。

なお，欠員補充の状況については，3月28日（月）以降，本学ウェブサイトの「入試情報」

(<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>) にて情報提供を行います。

XI 入学手続

1. 手続の概要

- (1) 合格者は、下記期間に郵送により入学手続を完了してください。詳細は合格者に送付する「入学手続の手引き」に記載します。

試験日程	入学手続期間
前期日程	3月7日（月）～15日（火） 午後4時必着
後期日程	3月21日（月祝）～26日（土） 午後4時必着

入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、合格者としての権利を失います。

- (2) 入学手続に際しては、入学料等を納入する他、「入学手続の手引き」に記載の書類および『大学入学共通テスト受験票』を提出しなければなりません。
- (3) 入学手続完了後は、これを取り消して他の国公立大学・学部に入学者手続をすることは認められません。

2. 入学辞退者の取扱い

入学手続完了後、特別な事情により入学を辞退する場合には、事前に本学入試課まで電話連絡をし、令和4年3月31日（木）午後5時までに「入学辞退願（様式任意。理由を付すこと。）」を提出してください。

3. 入学時の大学への納入金

入 学 料（予定額）	282,000 円
------------	-----------

- (注) 1. 上記の入学料は予定額です。入学料の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。
2. 入学手続完了後に、入学を辞退した場合（留年等により入学資格を満たせなくなった場合を含む）は、入学料の返還はできません。

(参考) 1. 授業料について

授業料は、入学後に口座引落により納入していただきますので、入学時に納入する必要はありません。なお、授業料の金額（予定額）は次表のとおりです。授業料の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

授 業 料（予定額）	前期分 267,900 円 後期分 267,900 円 合計（年額） 535,800 円
------------	--

2. 諸会費について

入学時に必要となる入学料以外の諸会費（「学生会」「後援会」「同窓会」「校友会」の会費等）については「入学手続の手引き」送付の際にお知らせします。

4. 入学料・授業料の減免について

非課税世帯およびそれに準ずる世帯の方は、日本学生支援機構給付奨学金（高等教育の修学支援新制度）によって、家計の所得に応じた支援区分で入学料、授業料が減免されます。また、支援区分ごとの奨学金が毎月給付されます。

その他、学資負担者が死亡または激甚災害に遭われた方で、修学支援新制度の対象とならない方には、家計を確認したうえで入学料、授業料が減免される本学独自の制度があります。

XII 入試情報の公開（開示）について

1. 試験問題等の公開について

(1) 試験問題

問題を配付した試験については、合格者発表後に公開します（本学ウェブサイトでの公開（著作権の関係で非公開の部分を除く）および学内閲覧）。

(2) 解答例等

学力検査については「解答例」を、小論文については「出題意図」を、人間発達文化学類の実技検査については「概要とねらい」を、合格者発表後に公開します（学内閲覧のみ）。

(3) 合格者の最低点について

合格者の最低点（総合点によるもの）については、試験日程別・学類（人間発達文化学類前期日程はコース）別に合格者発表時に、合格者受験番号の掲示板および本学ウェブサイトの「入試情報」（<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>）に公開します。

合格者が10人未満の入学試験については公開しません。

2. 入学試験個人成績等の開示について

入学試験個人成績、出願書類として提出された調査書を本学の定める方法により開示します。

(1) 申請期間 令和4年5月6日（金）～5月31日（火）

(2) 開示方法 令和4年4月上旬、本学ウェブサイトの「入試情報」に、開示方法を掲載します。

<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/kaizi.html>

(3) 開示内容

① 個人成績については入学試験ごとに該当する以下の成績

ア. 大学入学共通テストの教科・科目ごとの得点（本学が判定に使用した教科・科目のみ。傾斜配点を行う教科・科目は傾斜配点換算後の得点。）

イ. 個別学力検査等の得点

ウ. アとイの総合点

② 調査書について

「指導上参考となる諸事項」、「総合的な学習の時間の内容・評価」および「備考」欄の記載事項以外の部分の複写物（高校在学時に交付される通知書と同等のもの）。

XIII 入学志願者の個人情報保護

本学では、提出された出願書類や入学試験により個人情報を取得します。取得した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」および「国立大学法人福島大学個人情報保護管理規則」に基づき、下記の目的でのみ利用し、その保護に努めます。

【利用目的】

○ 入学者選抜に関する業務（統計処理等の付随する業務を含む）に利用します。

○ 入学手続に関する業務に利用します。

○ 入学手続完了者にあつては、入学後の修学指導業務および学生支援業務、授業料徴収業務、入学者の教育方法の改善に利用します。また、入学料免除、授業料免除および各種奨学金申請（応募）者にあつては、入学試験の成績等を当該免除者または奨学金貸与者の選考判定に利用する場合があります。

なお、入学志願者にあつては、大学入学共通テストの成績を取得する目的で、独立行政法人大学入試センター（以下、「大学入試センター」といいます）へ、合格者にあつては、国公立大学の分離分割方式による合格および追加合格決定業務を円滑に行うため、大学入試センターおよび併願先の国公立大学に個人情報の一部が送達されます。

また、出願手続に関する業務を円滑に進めるため、業務の一部を外部に委託しています。委託先に対して、必要な個人情報を提供しますが、委託先との間で適切な取り扱いに関する契約の締結をはじめ、適切な監督を行います。

XIV 一般選抜（前期日程および後期日程）における過去問題の使用について

1. 本学のアドミッション・ポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学で過去に出題された問題を、再度活用して出題することがあります。ただし、小論文は除きます。
2. 過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、必ず使用する

とは限りません。

- 過去問題を使用した場合は、入学試験終了後、本学ウェブサイトの「入試情報」(<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/>)で公表します。
- 「入試過去問題活用宣言」の詳細および参加大学の一覧は、次のウェブサイトで公表しています。
(<http://www.nyushikakomon.jp/>)

XV 東日本大震災（原発事故含む）および激甚災害において被災された方に対する検定料の免除について

本学では、東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故、および平成23年度以降において豪雨災害等の激甚災害で被災された方の経済的負担を軽減し、被災受験者の進学機会の確保を図るために、令和3年度に行われる全ての入試において、検定料免除の特別措置を下記のとおり行います。

(1) 対象者

出願期間までに、次のいずれかに該当すると認められた本学入学志願者については、検定料を全額免除します。

- 東日本大震災において指定された災害救助法適用地域で被災された方、または平成23年度以降に「激甚災害」に指定された災害により被災された方で、本人または主たる家計支持者が居住していた家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失の罹災と認定された方
- 東日本大震災において指定された災害救助法適用地域で被災された方、または平成23年度以降に「激甚災害」に指定された災害により被災された方で、主たる家計支持者が死亡または行方不明となった方
- 東京電力福島第一原子力発電所事故を受けて認定された「警戒区域」、「計画的避難区域」、「緊急時避難準備区域」、「特定避難勧奨地点」に平成23年3月11日時点で本人または主たる家計支持者が居住していた方で、これに伴い避難を余儀なくされた方

区 分	検定料免除の可否（可は○、否は×で示しています）				
	全 壊	大規模半壊	半 壊	流 失	一部損壊
①家屋の全・半壊	○				×
②主たる家計支持者が死亡または行方不明	主たる家計支持者				主たる家計支持者以外
	○				×
③原発事故による影響	警戒区域	計画的避難区域	緊急時避難準備区域	特定避難勧奨地点	それ以外の地域
	○				×

注：区域については、再編前の区域としています。

(2) 必要書類

検定料免除を申請するにあたって必要な書類は以下のとおりです。

- 検定料免除申請書（本学所定の用紙）
本学ウェブサイト「入試情報－募集要項」(<http://nyushi.adb.fukushima-u.ac.jp/yoko.html>) 参照
- 次に挙げる証明書のいずれか一つの写し
上記(1)①に該当する場合、「市町村長が発行する罹災証明書」
上記(1)②に該当する場合、「主たる家計支持者の死亡または行方不明を確認できる書類」
上記(1)③に該当する場合、「避難している（いた）ことが確認できる書類」（自己申立書でも可）

(3) 必要書類の提出方法と提出期間

出願期間中に出願書類と合わせて提出してください。

なお、検定料免除申請を行う場合は、出願時に検定料を払い込まないでください。

XVI 共生システム理工学類における本学が実施する試験の一部変更について－予告－

共生システム理工学類一般選抜（前期日程および後期日程）の個別学力検査「数学」において、現行の出題範囲「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B（前期日程および後期日程の「数学」の「数B」は「数

列]、「ベクトル」とします)」は、平成30年3月に告示された高等学校学習指導要領に基づく数学の新課程を適用される前までの受験年度(令和6(2024)年度入試(令和5(2023)年度実施))まで継続します。

新課程(令和4(2022)年度入学の高校1年生相当、令和7(2025)年度入試(令和6(2024)年度実施))では「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C」を共生システム理工学類一般選抜(前期日程および後期日程)の個別学力検査「数学」の範囲として予定しています。なお、詳細は決定次第公表します。

XVII 入試における新型コロナウイルス感染症対応について

1. 追試験等について

令和4年度福島大学一般選抜において、新型コロナウイルス感染症の罹患等により、受験することができない者を対象に、以下のとおり追試験を実施します。

(1) 対象者

- ① 新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日までに医師が治癒したと診断していない者(無症状の者を含む)
- ② 試験直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた者
注) ただし、無症状の濃厚接触者については、後掲「2. 新型コロナウイルス感染症における無症状の濃厚接触者への対応について」による申請により、受験を許可された場合、別室での受験ができます。
- ③ 発熱・咳等の症状があり、試験当日の検温で37.5度以上の熱がある者

(2) 申請期間

試験日の前日および当日 9:00~17:00

(3) 申請手続

- A 申請期間内に本人または代理人が「受験票」と「診断書等(治療期間および検温した体温が明記されたもの)」を持参し、「追試験等申請書」により申請してください。
- B 申請期間内に本人または代理人が来学できない場合は、電話で受付を行います。受付後、「受験票」および「診断書等」の提出が必要となります。
注) 「診断書等」の提出は申請期間の翌日までとします(翌日が土曜・日曜にあたる場合は、月曜日(月曜日が祝日にあたる場合は火曜日)までとします)。

(4) 申請内容の認否結果について

申請内容の認否については、本人に通知します。

(5) 追試験日程(前期日程および後期日程共通)

試験日	試験科目等
令和4年3月22日(火)	試験時間および試験科目等は、決定次第本学ウェブサイトの「入試情報」でお知らせします。

(6) 合格発表日

令和4年3月26日(土) 午前11時

(7) 入学手続期間

令和4年3月27日(日)~30日(水)

2. 新型コロナウイルス感染症における無症状の濃厚接触者への対応について

本学を受験予定で、保健所より濃厚接触者に該当すると伝えられた者のうち、以下のいずれの要件も満たす場合で、本学入試課へ所定の申請手続を行い、受験を許可された場合、別室での受験ができます。

保健所より濃厚接触者に該当すると伝えられた者で受験を希望する場合は、まずは速やかに本学入試課に電話でご連絡ください。なお、原則として入試2日前の午前10時までに入試課にご連絡をお願いします。

【受験を認める要件】

- ① 初期スクリーニング(自治体によるPCR検査または検疫所における抗原定量検査)の結果、陰性であること
- ② 公共の交通機関(電車、バス、タクシー等)を利用せず、かつ、人が密集する場所を避けて試験場に来ることができること(自家用車等を利用すること)
- ③ 受験当日も無症状であること
注1) 本学入試課への申告後に別室での受験に問題がないと判断された場合、申請者へ確認を行うと同時に、速やかに郵送またはメールで申請者宛てに許可証を送付します。

注2) 受験当日は許可証を持参し、指定時間、指定場所（許可証と同封）に集合してください。そこで、無症状であるかの確認を行います。
試験当日にいずれの要件も満たした場合は、感染防止対策をとり、別室受験とします。
試験当日に発熱、咳等の症状がある場合には受験できません。

3. 受験者のみなさまへのお願い

本学では、試験場等の衛生管理体制に万全を期し、入試を実施します。受験者のみなさまは、以下の新型コロナウイルス感染症対策をお願いします。

《試験前》

- 日頃からの体調管理、不要不急の外出等を行わないなど、感染リスクを避ける行動を心がけてください。
- 新型コロナウイルス感染症に罹患し治癒していない者および保健所等から濃厚接触者に該当するとされた者は受験できません（無症状の濃厚接触者は「2. 新型コロナウイルス感染症における無症状の濃厚接触者への対応について」をご確認ください）。

《試験当日》

- 試験当日は、検温を行い37.5度以上の熱がある場合は受験を取り止めてください。
- 試験場内において、写真照合時を除き、必ずマスクを着用してください。
- アルコールによる手指消毒、トイレ後の手洗いを行ってください。
- 発熱、咳等の体調不良の場合には、試験監督等に申し出てください。
- 換気を行いますので、体温調節が可能な服装をご準備ください。
- 試験前、休憩時間等は、他者との接触・会話を極力控えてください。
- 移動の電車等においても、マスクを着用し、友人との会話は極力控えてください。

《試験終了後》

- 入学試験受験後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症に罹患したことが判明した場合には、必ず、福島大学入試課に連絡してください。
- 入試において感染者が出た場合には、保健所に連絡先等の情報提供を行う場合があります。ただし、提供する個人情報は新型コロナウイルス感染症拡大防止以外には利用いたしません。

福島大学案内図

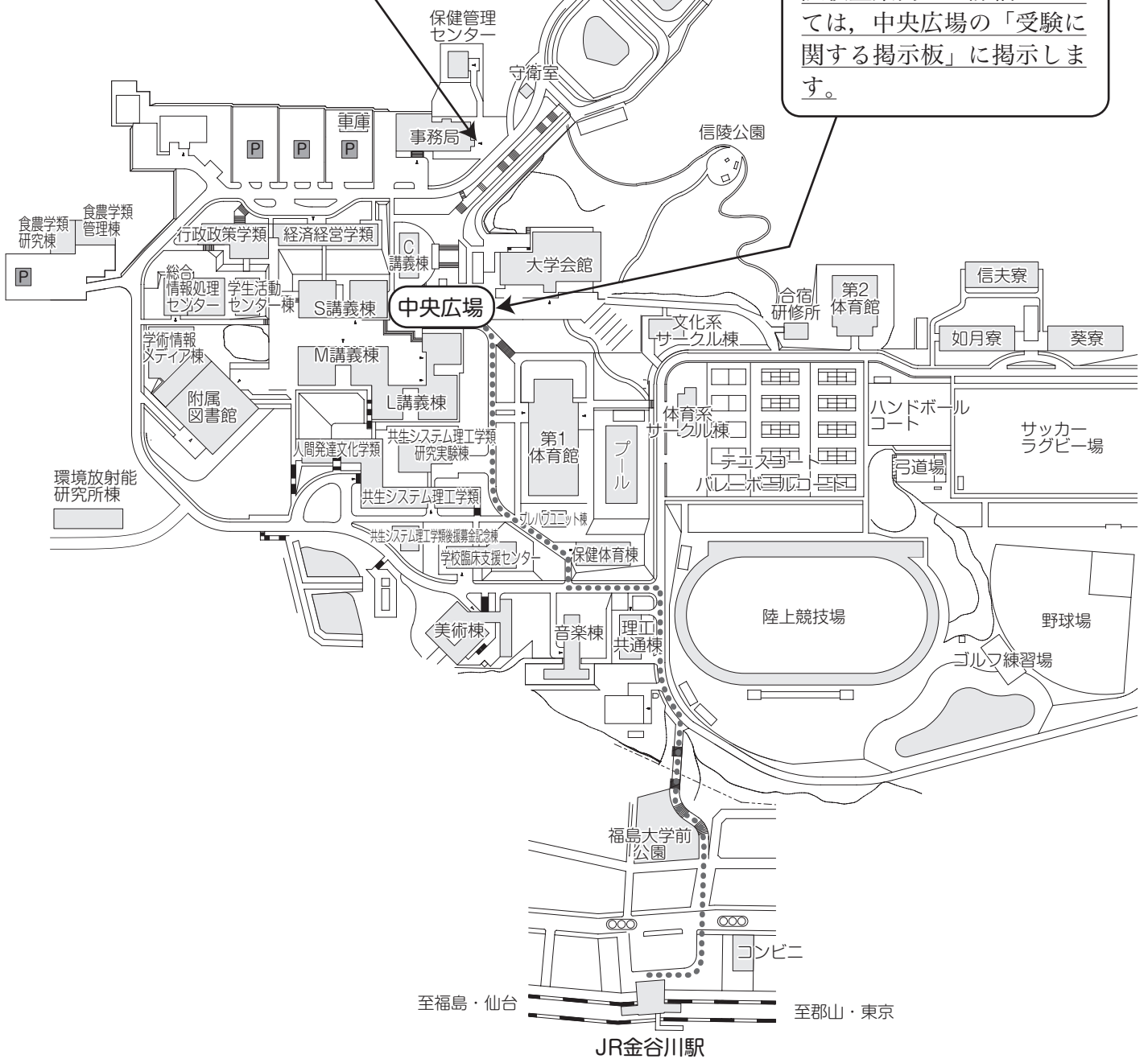


県道 至福島
福島・安達線 (旧国道4号)
至松川町

入試課 (1F)

受験に関する掲示板

試験室案内など詳細については、中央広場の「受験に関する掲示板」に掲示します。



かなやがわ
JR東北本線金谷川駅下車
中央広場まで徒歩約10分



国立大学法人

福島大学

Fukushima University